



平成30年3月期決算説明会

平成30年6月12日
藤田エンジニアリング株式会社

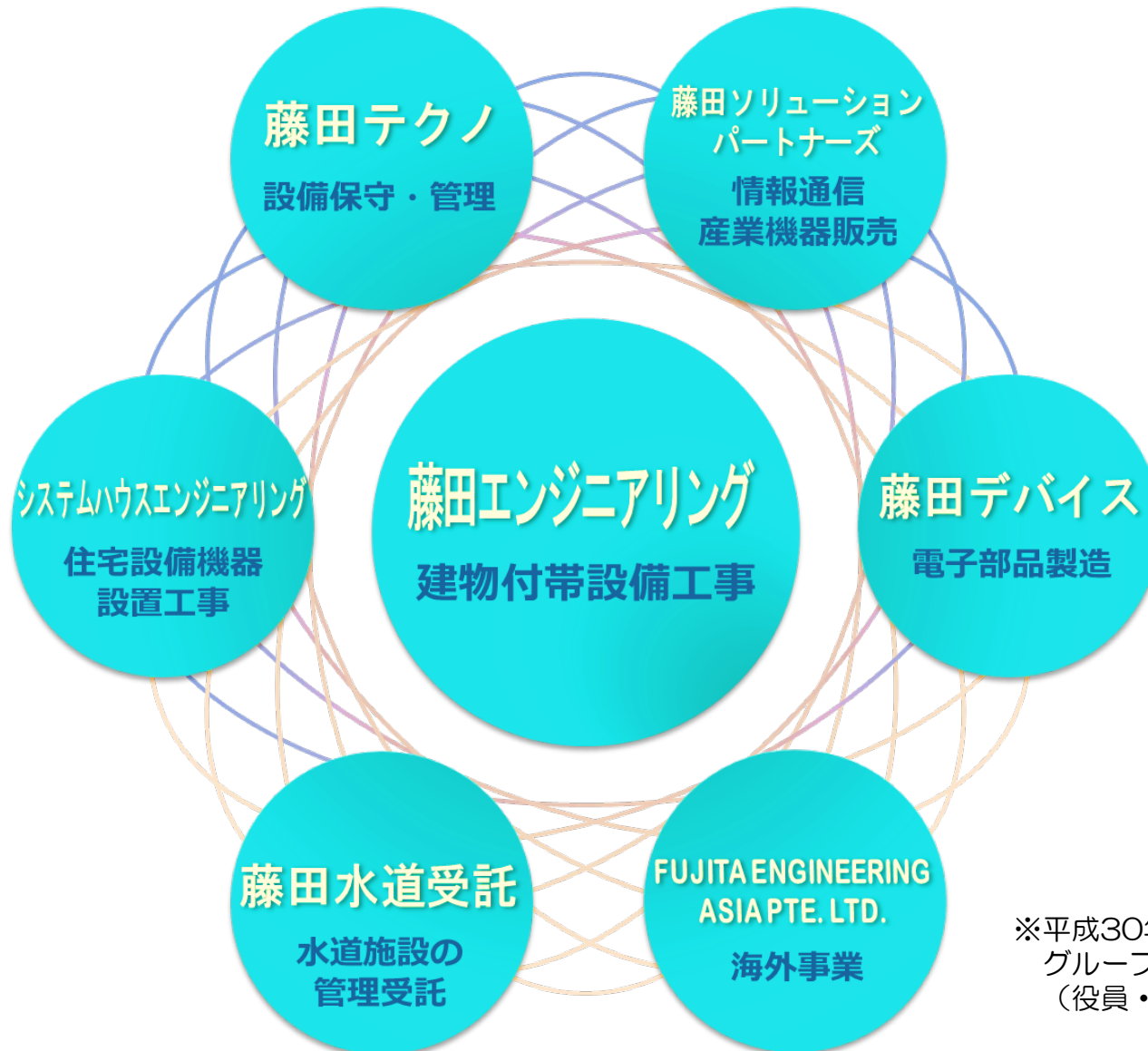
代表取締役社長
藤田 実

目次

1. 藤田グループ事業概要
2. 平成30年3月期 決算概要
3. 資本政策
4. 平成31年3月期 事業方針
5. 平成31年3月期 業績見通し

藤田グループ事業概要

藤田グループ事業概要



※平成30年3月末時点
グループ人員総勢804人
(役員・顧問を除く)

平成30年3月期 決算概要

平成30年3月期<連結>業績概要

● 連結損益計算書

	平成29年3月期		平成30年3月期		増減率
	金額(百万円)	売上高比	金額(百万円)	売上高比	
売上高	26,287	100%	29,739	100%	13.1%
営業利益	1,427	5.4%	2,105	7.1%	47.4%
経常利益	1,521	5.8%	2,205	7.4%	44.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,009	3.8%	1,331	4.5%	31.8%
1株当たり配当金	23円		25円		
	中間13円 期末10円		中間10円 期末15円		

平成30年3月期<連結>業績概要

● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

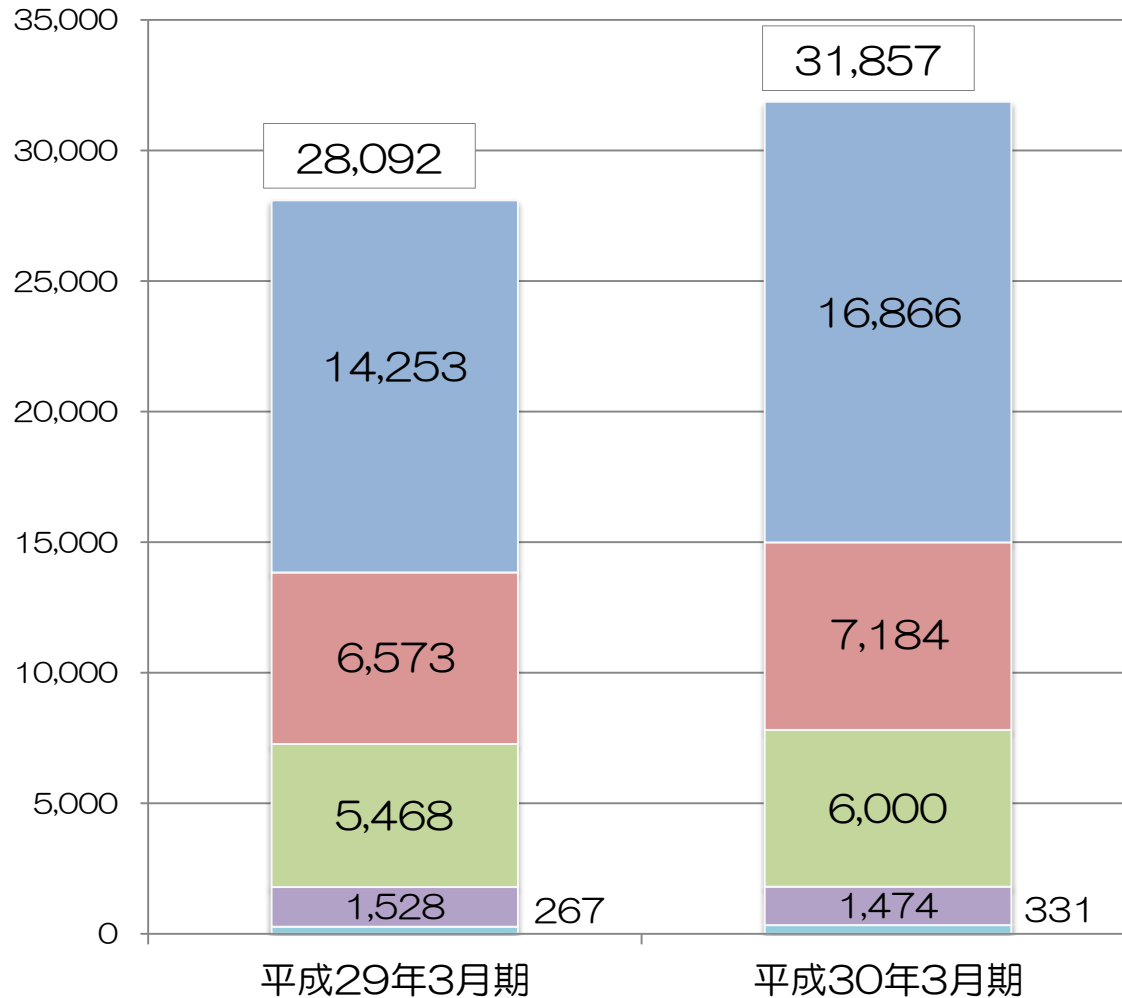
● 経営・財務指数

	平成29年 3月期	平成30年 3月期	増減
流動資産	16,498	17,528	1,029
固定資産	4,735	4,987	252
資産合計	21,234	22,515	1,281
流動負債	10,175	10,201	26
固定負債	1,123	1,182	58
負債合計	11,298	11,383	85
純資産合計	9,935	11,132	1,196
負債純資産 合計	21,234	22,515	1,281

	平成29年 3月期	平成30年 3月期
1株当たり 当期純利益	111.02円	146.35円
自己資本 当期純利益率	10.6%	12.6%
総資産率 経常利益率	7.5%	10.1%
売上高 営業利益率	5.4%	7.1%
自己資本比率	46.8%	49.4%
1株当たり 純資産	1,092.38円	1,223.91円

【セグメント別売上】

(単位:百万円)



■ 建設事業

売上高168億66百万円
 (前連結会計年度比+18.3%)
 繰越工事に加え、受注が堅調であり、更に施工も順調であったこと等による

■ 機器販売及び情報システム事業

売上高71億84百万円
 (前連結会計年度比+9.3%)
 製造業向け機器販売や情報システム開発受注がともに堅調であったことによる

■ 機器のメンテナンス事業

売上高60億円
 (前連結会計年度比+9.7%)
 工場設備の改修や施設の保守管理が堅調であったこと等による

■ 電子部品製造事業

売上高14億74百万円
 (前連結会計年度比△3.5%)
 製造工程省力化装置の受注は低調であったものの、半導体関連部品の受注が好調であったこと等による

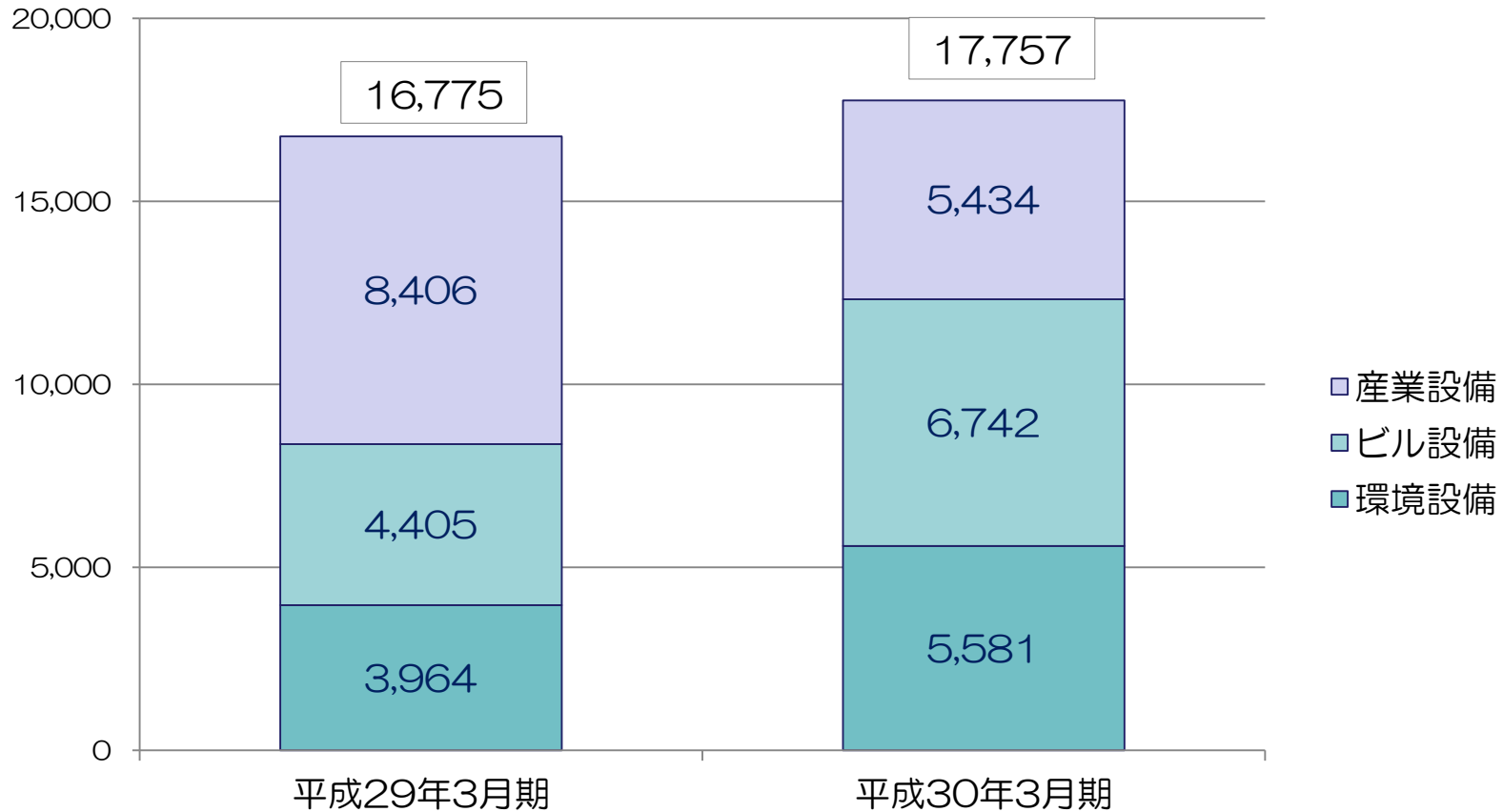
■ その他

※ セグメント間取引消去前の金額によっている

【建設 受注実績①】

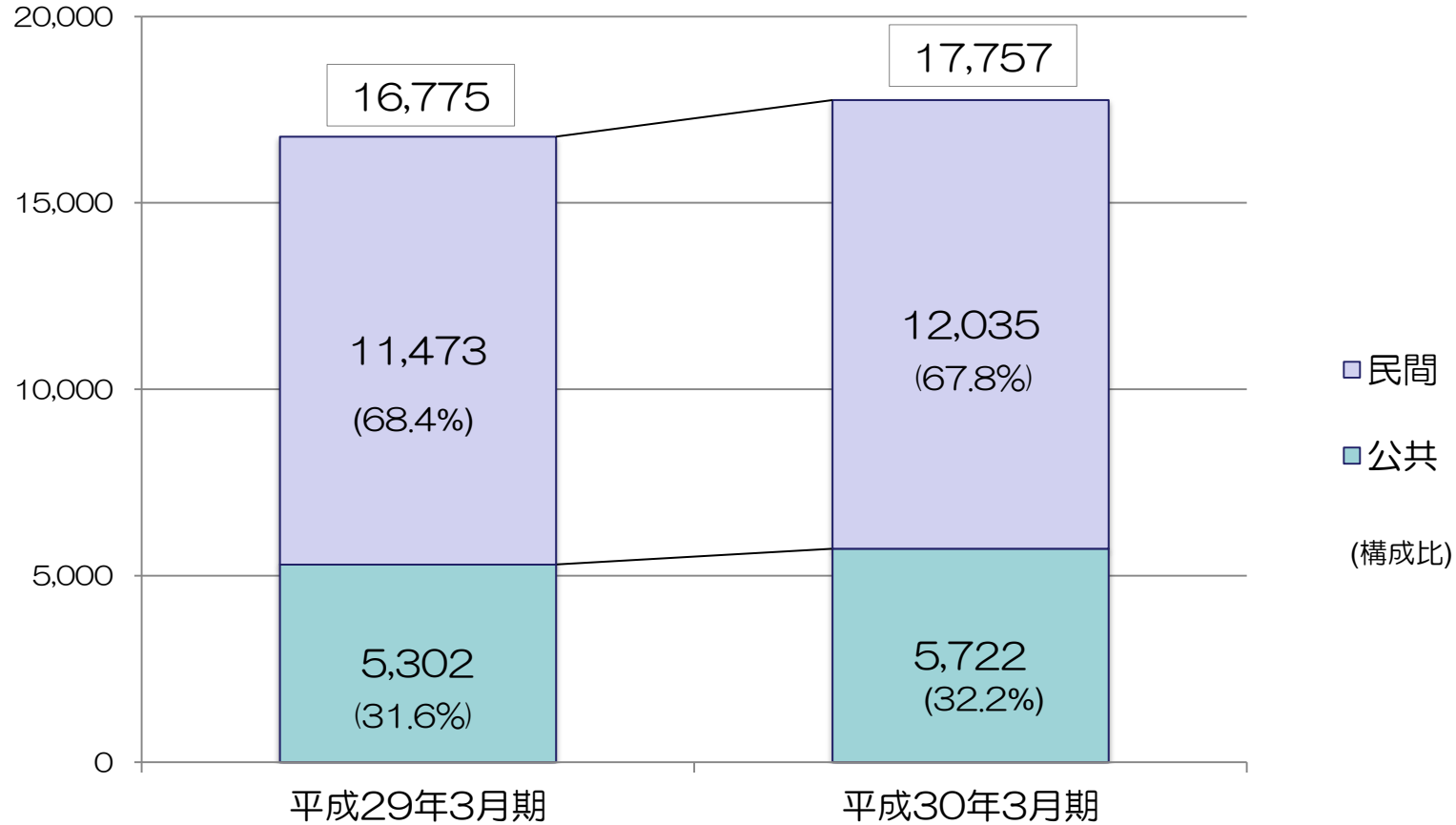
建設事業における受注高は177億57百万円（前連結会計年度比5.9%の増加）

（単位:百万円）



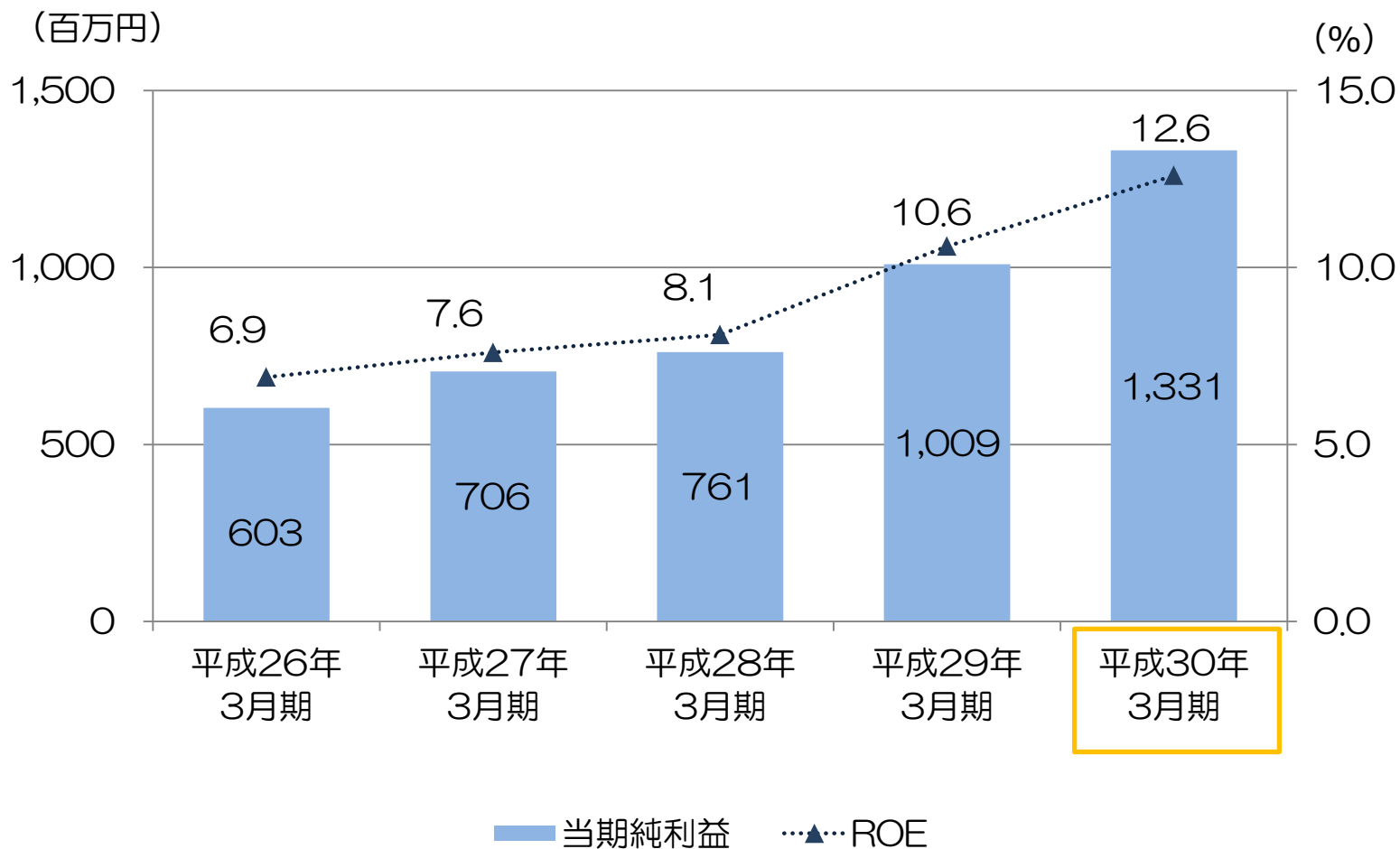
【建設 受注実績②公共・民間別】

(金額単位:百万円)



資本政策

当期純利益及び自己資本当期純利益率（ROE）の推移



株主配当

配当基本方針

財務体質と経営基盤の強化ならびに今後の事業展開等を勘案した上で、安定的な株主還元を継続する

平成30年3月期：[中間]10円（普通配当 10円）

[期末]15円（普通配当 10円 + 特別配当 5円）

平成31年3月期：普通配当を20円から24円に増配（予定）

		平成29年 3月期	平成30年 3月期	平成31年 3月期 (予想)
年間配当金 (円)	第2四半期末	13	10	12
	期末	10	15	12
	合計	23	25	24
配当性向	(%)	20.7	17.1	15.3
純資産配当率	(%)	2.2	2.2	-

譲渡制限付株式報酬

当社取締役が株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めるため、対象取締役に対し、譲渡制限付株式を割り当てる報酬制度を導入予定。

本制度に関する議案を平成30年6月28日開催予定の当社定時株主総会に付議する。

【制度の概要】

対象取締役	当社取締役（社外取締役を除く） 完全子会社取締役
報酬上限枠	50百万円／年
上限株式数	150,000株／年
譲渡制限期間	5年間～30年間（割当時に別途定める）
譲渡制限期間満了以外の解除条件	退任理由を当社取締役会が正当と認める場合 これ以外は、会社が対象株式を無償取得する

平成31年3月期事業方針

Integrity[誠実] & Initiative[主導権]

【事業基盤の強化】

- 技術開発とグループ内連携による差別化
 - 独自技術（FENET、バイバイキング、FMMS 等）
 - 省エネ・スマート化（ビル、工場、浄水場 等）
 - 再生可能エネルギー（小水力発電、バイオマス発電）
 - IoT（情報収集技術）
- 新たな顧客・エリアの開拓

【人材基盤の強化】

- 社員教育の推進
（若手社員への重点的教育投資、技術の継承 等）
- 働き方改革の推進（健康経営、ITツールの導入）
- 人員増強

平成31年3月期 業績見通し

平成31年3月期連結業績見通し

● 連結損益計算書

	平成29年 3月期	平成30年 3月期	平成31年3月期 見通し	
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	増減率
売上高	26,287	29,739	29,500	△0.8%
営業利益	1,427	2,105	2,000	△5.0%
経常利益	1,521	2,205	2,100	△4.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,009	1,331	1,430	7.4%
1株当たり配当金	23円	25円	24円(予定)	



平成30年3月期決算説明会

完

平成30年6月12日

藤田エンジニアリング株式会社

- 本資料記載の藤田グループの計画、戦略、意見等のうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通し又は目標であり、リスクや不確定な要素を含んでおります。
実際の業績は様々な要因により、これらとは異なる結果になりうることをご承知おき下さい。
- 本資料に掲載されている事項は、情報提供を目的とするものであり、投資勧誘目的で作成されたものではありません。
- 本資料の著作権は藤田エンジニアリング(株)に帰属しており、無断で転載・複製することを禁じます。